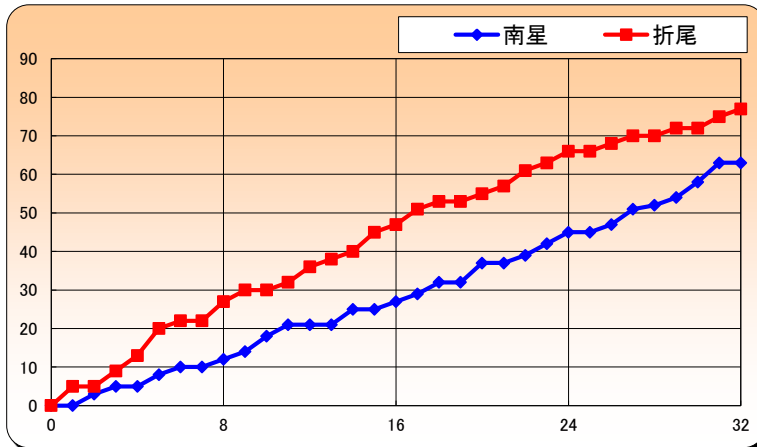




大会名	東日本大震災復興支援 平成25年度全国中学校総合体育大会 第43回全国中学校バスケットボール大会																
会場	浜松アリーナ																
日時	平成25年8月24日(土) 12:10																
コート	Dコート 第3試合																
カテゴリー	女子 決勝トーナメント1回戦																
主審	大森 智之 (三重)																
副審	青山 宜正 (静岡)																
Team A		Team B															
南星	63	77															
●		○															
富山		福岡															
	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>27</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	1st	27	15	2nd	20	18	3rd	19	18	4th	11		OT		
12	1st	27															
15	2nd	20															
18	3rd	19															
18	4th	11															
	OT																



【BOXスコア】

Team A		南星					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	灰塚 千沙都	×	29	2	11	1	5
5	早苗 咲	×	9	0	3	3	2
6	石田 菜	×	10	0	4	2	4
7	吉田 莉緒	×	8	2	1	0	0
8	細川 菜颯	×	2	0	1	0	2
9	堀田 英里	/	5	1	1	0	0
10	中永 英里	DNP	0	0	0	0	0
11	福尾 爽香	DNP	0	0	0	0	0
12	荻布 真希	DNP	0	0	0	0	0
13	村中 絵子	DNP	0	0	0	0	0
14	釣 ふたば	DNP	0	0	0	0	0
15	石橋 由羽	DNP	0	0	0	0	0
16	池田 麻代	DNP	0	0	0	0	0
17	土尾 風花	DNP	0	0	0	0	0
18	早苗 朱璃	DNP	0	0	0	0	0
監督	長野 大						0
コーチ	荒井 美絵						0
合計			63	5	21	6	13

Team B		折尾					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	川野 京楓	×	11	1	4	0	3
5	桑原 結衣	×	7	0	3	1	1
6	東 楓香	/	0	0	0	0	1
7	木村 亜美	×	19	0	9	1	3
8	橋口 樹	×	27	0	9	9	1
9	土谷 三奈未	/	2	0	1	0	2
10	但馬 怜生奈	/	0	0	0	0	3
11	安部 星海	/	0	0	0	0	0
12	鷹木 彩	DNP	0	0	0	0	0
13	嶺 由姫	DNP	0	0	0	0	0
14	岡田 彩伽	DNP	0	0	0	0	0
15	高木 志歩	×	9	1	2	2	2
16	松本 侑璃	DNP	0	0	0	0	0
17	小野 楓夏	/	2	0	1	0	2
18	奥田 千里	DNP	0	0	0	0	0
監督	山口 利明						0
コーチ	岡西 優子						0
合計			77	2	29	13	18

【戦評】

北信越ブロック代表の南星(富山)と九州ブロック代表の折尾(福岡)決勝トーナメント一回戦。1Q、両チームともにハーフコートマンツーマンDefでスタート。折尾は、#8の高さを生かし、ゴール下で次々と得点していく。対する南星は、#4の1対1を中心に攻めていくが、折尾の堅いDefを崩すことができず、逆に折尾の速攻を許してしまう。南星5-17折尾となったところで、南星がタイムアウトをとる。タイムアウト後も、#4の1対1からシュートを打っていくが、折尾のDefを攻略するまでにはならず、南星12-27折尾で1Q終了。2Q、折尾#8を抑えたい南星は、#8にマークを2人つけて、必死に守る。このDefがうまく機能し、折尾はターンオーバーを連発する。そこから、南星#6、#8が連続得点。さらに、南星#9に3Pを決められ、点差が9点まで縮められる。しかし、ここから折尾はDefを堅め、スティールやリバウンドから速攻を出し、再び点差を広げていく。2Qは27-47で終了。

3Q、南星はDefをオールコートマンツーマンに変え、激しくプレッシャーをかけ、ボールを奪いに行く。南星#4の3P、#6のバスケットカウントなどで流れをつかむかと思われたが、折尾#8のポストプレー、#7の1対1を抑えることができず、点差を広げられてしまう。南星45-66折尾で3Q終了。4Q、両チームとも、ハーフコートマンツーマンDefでスタート。折尾は堅いDefから次々と速攻を出していく。対する南星は#4の1対1や2対2を軸に攻めていく。互いに、積極的な攻撃を展開し、一進一退の攻防が続く。終盤、南星#4が3Pを含む3連続ゴールで一気に点差を11点までつめ、粘りを見せる。しかし、残り1分、南星#4が5回目のファウルで退場し、万事休す。南星63-77折尾で折尾がベスト8進出を決めた。

【戦評記入者】

平等正基